

水友だより

会員拡大と事業拡充が課題

横浜市水友会第19回通常総会

5月31日、水友会第19回

通常総会が横浜水道会館で
開催されました。



挨拶する石井会長

この3年間、新型コロナウイルスの国内感染が収まらないなかでも実施されてきた総会に89名が参加しました。

永井副会長の開会挨拶後、始めにこの1年間に亡くなられた15名の会員のご逝去に対して黙祷し、ご冥福を祈りました。大先輩のご逝去はもとより、15名中6名もの60・70歳代会員のご逝去は悔やまれ残念なことで、改めてご冥福

横浜市水友会
横浜市保土ヶ谷区
宮田町一―五―七
発行責任者 石井栄一
Tel.442-6954

をお祈り致します。

次第により、議長に小林・糸賀両理事が選出され、渡辺事務局長の資格審査発表(参加者89名、委任状249名)をもって通常総会の成立を見たのち、中村、高嶋両理事が議事録署名名人に任命されて議事が進行しました。

議長挨拶に続いての石井会長の第一声は、「マスクで顔が分からず『貴方はどなた?』の会話があちこちで交わされていた」というもの。マスクが任意となり表情が分かる嬉しさはあるものの、夏以降の第9派の流行も予測されることから、油断のなきようなどの注意喚起もありました。

挨拶は国内外の情勢に触れた後、国会の問題と捉えがちな政治課題についても情報提供をしていきたいと、運動に対しての支援の要望がありました。また来年は、交通の60回水道は55回の総会を予定していることから、長期間継続されている運動へ

の期待が述べられました。来賓を代表して横水労組の的場執行委員長からは、市職員のマイナンバーカード取得状況に関する動向が、また全水道退職協・足立会長からは政治情勢についての報告がされました。

経過報告及び決算報告・監査報告の簡潔な提案は、高齢者への記念品贈呈も既に該当者宛郵送済みとの報告も含めて拍手で承認されました。

昨年の大会で、「コロナの影響で各種行事が中止されたが、より活発な活動を楽しまししよう」という会長の言葉のとおり、この1年各種行事が復活し、新たな趣味の会発足の提起を受けて具体化に向けた検討の報告や、ホームページの更新を指摘する意見など水友会の活動への会員の期待が感じられたところです。

議長降壇にあたっては、水友会事業に対してのメールと会員拡大に向けて現職へのアプローチを進めるとの挨拶で今総会は終了しました。簡潔な進行で終了した総会後、今回はセレモアの麦島部長から「エンディングノート書き方」をテーマに講演がありました。終活への気持



講演する麦島部長

ちの持ちようは年齢や環境で様々ですが、心覚えのつもりで活用するのも選択肢の一つだろうと感じたところです。記念品の栗羊羹とセツトの福島復興応援の羊羹は、今年もおいしく頂戴しました。壇上の飾り花もミニ花束を寄せて飾るなどの工夫みられ楽しいことでした。

高齢化と会員の減少という大きな課題の上に、ここ数年はコロナの影響で活動の多くが後退しましたが、工夫しながら歩み続けることの大切さから、課題へも地道に向き合い、小さな変化を積み重ねていくことが大事と強く感じています。

水友会々員皆様の元気に「あっぱれ!」と思ったこと、報告や議案が非常に簡潔になったことに加えて、変化がいくつも感じられた今総会でした。(山口栄子)

2023年度 施設見学会

東京都葛飾区柴又帝釈天と寅さん記念館と浅草仲見世散策

開催日 9月30日(土)
募集人員 90名程度(大型バス2台)
集合場所 横浜駅西口 沢渡中央公園前
集合時間 午前7時30分
会費 5000円 ※詳細は同封の案内を参照してください。

高齢化と会員の減少に苦慮 第24回横浜市水友会県央地区総会



行われました。

議事に入り、柴田氏の司会で始まり議長に小泉氏を選出し今村会長、水友会石井会長の挨拶を受けた後、事務局長から経過報告、議案の提案と承認を受けました。

懇親会の中華料理「芳香園」では、いっそうの親交を深めていただき盛会に終了しました。

しかしながら、高齢化とともに入会者、参加者の減少が懸念されます。この様な状況下にあつて、会として解散する訳にもゆかず、どうして良いか妙案も浮かばず大変苦慮しているところです。(小田切)

料理の香りで会議もそわそわ 第1回横浜西部地区居住者会総会

6月13日(火)鶴ヶ峰「魚道楽 千萬」にて、22名の参加を得て、第1回の総会が開催されました。

東副会長の司会挨拶で開

始し、議長兼書記に渡辺幹事が選任されました。

最初に糸賀会長のあいさつ、来賓に石井会長・永井副会長と鈴木常務の参加を



得て石井会長からあいさつをいただきました。

報告事項並びに議案については、スムーズに進行し承認されましたが、報告中にお店の料理の香りが部屋中

逗子・小坪周辺の名所を散策

横須賀・三浦地区居住者会ハイキング

春のハイキングは、曇り時々雨の降る天候の中で、5月13日(土)に石井会長他横須賀・三浦地区居住者会・水友会ハイキング班のメンバー14名の参加を得て、実施されました。

午前10時にJR逗子駅に集合し、最初の目的地で

に充滿し、皆様そわそわと。第2部の懇親会は、渡久地幹事のあいさつと、山崎顧問の発声で乾杯し開始されました。久しぶりの顔ぶれに大いに賑わい予定された時間があつという間に過ぎ閉会は、永井副会長の締めで閉会しました。

どこでも懸案課題となっている会員の減少もあり、また、居住者に連絡等がうまく伝わらないこともあり、西部地区居住者会では、恒例となっている秋のグラウンドゴルフ大会と春のウォーキングを行つています。多くの皆様の参加をお待ちしています。(山田)

ある逗子海岸を經由し旧料金所近くの浪子不動に向けて出発、住宅街を抜け逗子海岸の浜辺を歩き、40分程で浪子不動に到着、休憩後、披露山公園に向け出発、急な坂道を登るハイキングコースを、滑るのを注意しながら歩き、11時30分頃に披露

新規会員の紹介

2022年度末定年退職者に、水友会の入会を呼びかけたところ、左記の10人から申し込みがありました。

- 伊藤 克也 (60歳)
- 市川 二朗 (60歳)
- 小川 真美 (60歳)
- 小川 昭彦 (60歳)
- 小野 和宏 (60歳)
- 郷内 智 (60歳)
- 近藤 祥子 (60歳)
- 平澤 正一 (60歳)
- 藤本 徹 (60歳)
- 二見 友久 (60歳)

親睦・交流を深め合う

横須賀・三浦地区居住者会第26回総会

昨年と同様、新型コロナウイルスの国内感染の収束が見えてきた状況の中、4月1日(土)午前11時より、「横須賀産業交流プラザ」において、規模を縮小し、ささやかに総会を開催しました。

最初に記念写真を撮った後、白杉幹事の司会進行で始まり、総会次第に従って、東代表幹事から、「会員の親睦・交流を深めて行きたい」との挨拶がありました。

続いて、石井水友会会長より、水友会全体の状況報告の後、活動報告・会計決算報告・監査報告と続き、承認された後、議案の部に入り活動方針・会計予算・役員選出について、提案承認されました。



総会終了後、川島幹事の司会で懇親会に移行し、ワインで乾杯した後、さまざまなお話で盛り上がり、時間が経つのを忘れ、楽しい時間を過ごし、コロナ前の生活に戻る事を願い、午後1時30分に終了しました。

(白杉敏幸)

酒もねえ・弁当もねえ・おらんなのイヤだ

横浜市労連退職協カラオケ交流会

コロナウイルスも5類への移行間近という4月26日(水)、横水会館にて3年ぶりの「カラオケ交流会」が、5単会が集い開催されました。

水友会からは5名(細貝鋼二・早瀬雅友・石村和夫・宮下和光・榎本一雄)の歌い手が、スクリーンに映し出される映像とともに自慢の歌

遊 YOU

乗り鉄2人旅第5弾 中央本線編

私の周りには、鉄道を趣味にしている人も多く、話の話題が鉄道になると急に話始め、数多くの分野があると感じます。

一例として、東京の撮影ポイントが話題となり、山手線田端駅周辺には、山手線唯一の踏切や3路線が見える場所があります。

そして、チャレンジ第5弾として、中央本線各駅停車2人旅(目的地名古屋)を紹介します。

乗車当日に大船駅で待ち合わせをして、出発地点のJR東京駅9時前の高尾行きに乗車、いつものとおりビールで乾杯を披露しました。



といきたいところですが、乗客も多く高尾駅を過ぎてからにしました。

10時頃の高尾発塩尻行きに乗り換え、列車の中でビールで乾杯、山間部を走行するため富士山がほとんど見えず、甲府を過ぎ塩尻で乗り換え15時前の塩尻発中津川行きに乗り、中津川で乗り換え17時30分頃の中津川発名古屋行きに乗り、19時頃に名古屋駅に到着しました。

宿泊するホテルに荷物を預け、思い出のあるスナックを探しながら、近くの居酒屋で反省会、翌日は、名古屋駅から東海道新幹線グリーン車で、昨日見えなかった富士山を眺めながら新横浜駅を経由し、解散地点の大船に到着、再度反省会を行い、22時過ぎに散会しました。

コロナも少し気になりますが、十分注意しながら、鉄道旅を楽しみました。

(白杉)

水友会のテーブルには、当然、酒も弁当も無く、プログラムとにらみ合い、出番を待つという、少々拍子抜けするカラオケ交流会でした。それでも、各退会からの参加者によって全31曲が歌い継がれ、復活を記した交流会となりました。

来々からは喧騒を取り戻せる交流会となることを願います。

(宮下和光)

麻雀班 第1回大会 大感激の初優勝を果たす

水友会麻雀班第1回大会は、5月27日に関内「緑の館」で20人の仲間が集まり、親睦・交流の楽しい1日を過ごしました。

最終戦の1組目の闘いは熾烈な争いとなりましたが、4回戦まで1位だった伊東氏がプラス8千点となり、計9万7千点と逃げ切り大感激の初優勝となりました。

準優勝は4回戦まで3位だった丸氏が、プラス2万9千点のトップとなり計7万4千点で逆転しました。3位には佐藤正氏が2組目でプラス3万1千点のトップとなり計5万1千点で入賞を果たしました。4位は望月氏、5位は加藤氏が11位から躍進しました。

☆優勝・伊東信一氏
5年前に補充要員になってから、毎回負け続けていたが、昨年度は3

順位	氏名	得点
優勝	伊東 信一	97,200
準優勝	丸 保行	73,500
第3位	佐藤 正治	50,700
第4位	望月 紀	44,500
第5位	加藤 彰	39,500

第1回大会成績

回プラストなりようやく優勝できました。大感激です。☆準優勝・丸保行氏Ⅱ成績が良いときと悪いときの両極端を繰り返しているが、

ゴルフ班 第38回大会 芦沢 春樹氏 嬉しい初優勝

3月29日、第38回大会が千葉県PGM南市原ゴルフクラブで、31人が参加して行われました。

開会式は、渡辺幹事の進行で行われ、石井栄一会長から「怪我のないように楽しくプレーしましょう」と挨拶。その後、ルール説明等を行ないアウト・インに分かれてスタートしました。

コースは、自然の地形をそのままに造成されたコースだが、高低差はほとんど感じられず、ホール間も広くとられていて、のびのびとプレーが楽しめるが、池も配置されており緊張するシーンもあった。9ホールが終わり昼食休憩。喉を潤しお腹も満たし、気持

これを機会に、なんとか良い成績を続けたいと思っております。
☆第3位・佐藤正治氏Ⅱ前回初めて参加したときは、久しぶりのマージャンだったので調子があつかなかったが、これからは感も戻ったのでいきますよ。

順位	氏名	グロス	ハンデ	ネット
優勝	芦沢 春樹	94	27.8	66.2
準優勝	小林 薫	104	34.8	69.2
第3位	海老原 久	89	16.6	72.4
第4位	丸 保行	89	15.4	73.6
第5位	大城 達司	96	22.3	73.7

第38回大会成績

ちを入れ替え後半のプレーへ。18ホール終了後はお風呂場へ。疲れを癒やし気持ちよい一時を過ごし、表彰式会場へ。全員が揃いそれぞれ飲物で喉を潤し表彰式へと進み、成績発表。
結果は、別表にある通り、芦沢春樹氏が優勝・準優勝・小林薫氏、第3位・海老原久氏となり、海老原氏と丸



囲碁班 山田敏行七段が全勝優勝 横水OB親睦囲碁大会

令和5年4月25日(火)に横水会館2階第4会議室にて「横水OB親睦囲碁大会」を開催しました。

集合時間の12時45分にはマスク姿の12名の参加者が元氣よく集り、抽選により対戦相手を決め、ルール等の説明

氏が80の同スコアーでしたが、ハンデの多い(水友会ルール)海老原氏となりました。
優勝した芦沢氏は「後半はびつくりするくらい、全勝です」とスピーチ。準

優勝の小林氏は「前半は素晴らしかったが、何時ものように後半に崩れてしまいました。嬉しいですね」と語りました。第3位の海老原氏は「80台でのベスグロと3位入賞で良かったです」と述べました。(芦沢)

明の後、対局となりました。持ち点によるハンディ戦とし、一人35分の持ち時間にて、3局対戦しました。

3時間半にもわたる熱戦の結果、全勝の山田七段が優勝、2勝1敗が5人おりましたが勝ち目数の差により、準優勝は、鈴木七段、三位は関口四段でした。

敢闘賞には、細田二段、早勢四段、笹山四段の三名、特別賞は戸沢四段、ラッキー賞は松本五段の皆様でした。
参加メンバー(あいうえお順、敬称略)
片桐健治、斉藤晃、笹山弘、鈴木榮一、関口貞男、戸沢東、鍋島隆幸、早勢雅友、細田家司、松本昭、宮井國雄、山田敏行 計12名